

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【公開番号】特開 2019-124898 (P2019-124898A)

【公開日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-030

【出願番号】特願 2018-7353 (P2018-7353)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/3233 (2016.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/20 6 1 1 J

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/133 5 0 5

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 3 0

G 0 9 F 9/30 3 0 8 Z

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

G 0 9 G 3/20 6 2 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/3233

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 L 27/32

H 0 5 B 33/02

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

表示パネル 1 0 が有機電界発光パネルである場合、表示パネル 1 0 は、例えば、図 1、図 2 に示したように、行方向に延在する複数の走査線 W S L と、列方向に延在する複数の信号線 D T L と、行方向に延在する複数の電源線 D S L と、行列状に配置された複数の画素 1 1 とを有している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 0 】

[変形例 F]

上記実施の形態およびその変形例において、ライトスキャナ 32 は、例えば、図 15 に示したように、引出線 C N L の一端から走査線 W S L との接続点（コンタクト部 T H）までの距離に応じたパルス幅 D で、複数の引出線 C N L に選択パルス P_w を供給し、パルス幅 D を、上記の距離が長くなるにつれて狭くしてもよい。本変形例では、ライトスキャナ 32 は、選択パルス P_w の波高値を変える代わりに、選択パルス P_w のパルス幅を変える。このようにした場合にも、共通の映像信号 $D i n$ に応じた信号パルス P_s が各画素 11 に印加された場合に、画素 11 ごとの信号電圧 V_{sig} のばらつき（ V_{pix} ）が抑えられる。その結果、輝度ムラなどの表示不具合を抑制することができる。従って、狭額縁化に伴う表示不具合の発生を低減することができる。